

県内初 産後ケアにオンライン診療

豊橋の小石マタニティクリニックが導入

「安心できてよかった」利用者からは好反応

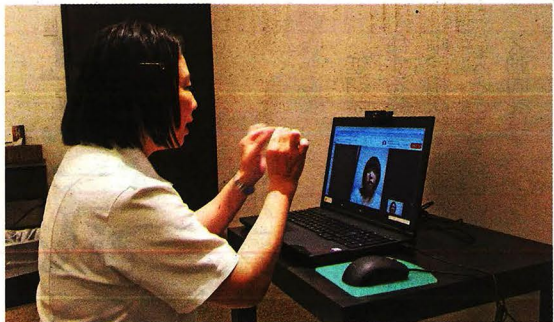
豊橋市つづじが丘2の小石マタニティクリニック(小石多紀子院長)で、産後ケアや赤ちゃんの発育に関するアドバイスが受けられるオンライン診療が11月1日から始まった。自宅にいながら、助産師から母親の産後ケアや赤ちゃんの発育に関するアドバイスを受け、必要に応じて来院受診の指示も受けられる。同クリニックでは、県内で初めてのシステム導入だとしている。

(戸崎史子)

心の負担や不安軽減サポート

母乳が足りているかどうか、赤ちゃんが泣き止まない、など産後の母親には不安がつきもの。特に初めての育児では慣れないことに悪戦苦闘することも多い。しかし、産後は母親も十分な静養が必要な時期で、ちょっとしたことで赤ちゃんを連れての受診もかえって負担になるものだ。同クリニックでは、そんな母親たちをサポートしたいとシステム導入を決めた。

運用開始から約1カ月となる25日まで



助産師によるオンライン診療 (小石マタニティクリニック提供)

で、利用件数は25件。母乳についての相談が最も多く、乳腺炎の疑いがある人には

受診をすすめる。そのほか、赤ちゃんとおの子にかける育児のバランスに悩む声にも相談に応じた。

小石ブライヤ奏子 産婦人科部長は「周産期死亡の原因は自殺が1位という統計もあり、産後うつになる前の段階で気づきたい」と話す。「実際に利用した人から1カ月健診で『安心できて良かった』という声も聞いている」という。

山後佐季子助産師は「画面を通してお

母さんの顔を見ることで、私たちも安心する。乳房の状態も見る事ができるので適切なアドバイスができる」と話した。

オンライン診療は

スマートフォン、パソコン、タブレットなどでアプリをインストール後、登録手続きを経て予約するシステム。受診料は無料で、退院から1カ月健診までの間に1回利用できる。予約枠は月々金曜の午前2枠、午後4枠の一日6枠。1回15分で個室で対応し、プライバシーも守られている。